

2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年2月8日

上場会社名 株式会社サクシード 上場取引所 東
コード番号 9256 URL <https://www.succeed-corp.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 高木 毅
問合せ先責任者（役職名） 取締役管理部長（氏名） 植田 庸平 (TEL) 03-5287-7259
四半期報告書提出予定日 2024年2月8日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	2,461	10.3	304	△7.8	304	△7.4	192	△7.8
2023年3月期第3四半期	2,230	14.4	329	△8.1	329	△7.5	208	△7.0
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
2024年3月期第3四半期		円 銭 54.84		円 銭 53.12				
2023年3月期第3四半期		59.96		57.63				

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	2,697	2,170	80.5
2023年3月期	2,461	1,978	80.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 2,170百万円 2023年3月期 1,977百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,440	17.1	445	16.3	445	11.4	298	10.9	85.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年3月期3Q	3,507,875株	2023年3月期	3,500,000株
2024年3月期3Q	—株	2023年3月期	—株
2024年3月期3Q	3,502,247株	2023年3月期3Q	3,475,000株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述についてのご注意）

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、個人消費の持ち直しや雇用及び所得環境の改善等から緩やかな回復基調にあるものの、ウクライナ情勢の長期化や為替の急速な変動、中国経済の停滞など、先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

教育業界におきましては、文部科学省が全国の高校の2～3割にあたる1,000校超をデジタル教育の拠点校とする、いわゆる「DXハイスクール」に指定する方針を固めており、今後もデジタル教育を担う人材の需要が高まると予想されます。ICT支援員におきましても、文部科学省が掲げている教育のICT化に向けた環境整備5か年計画(2018～2022年度)で目標とする水準「4校1人配置」に届いていない状況であり、今後も必要な配置が求められている状況です。また、教育現場での教員の長時間労働の問題は依然として深刻さを増しており、部活動の地域移行や外部人材の活用が進められています。さらに、子どもを取り巻く生活環境も大きく変化しています。小・中学校における不登校児童生徒数は29万9,048人と、前年度から5万4,108人(22.1%)増加し、過去最多となっており、(文部科学省「令和4年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要」)フリースクールやオンラインを利用した教育等、学びのニーズは一段と多様化しております。当社もこのような変化を機会と捉え、サービスの充実を図ってまいります。

福祉業界におきましては、共働き世帯の増加に伴い保育需要も増加しておりますが、保育施設が増えたことによる保育士不足や保育の質の低下が懸念されております。保育施設の待機児童問題は解消しつつある一方、新型コロナウイルス感染症の5類移行で在宅から出社復帰が高まり、学童保育の待機児童問題が深刻さを増しております。特に、施設不足に伴う定員数を超えた生徒の受け入れ、支援員不足や支援員の質の確保など様々な課題を抱えており、子育て支援事業者の社会的役割は一段と重要性を増しております。また、2012年4月に児童福祉法に基づく福祉サービスとして開始された放課後等デイサービスの施設は毎年増加を続けており、それに伴い人材の獲得競争も激しくなっていることから、当社サービスの需要も増しております。さらに、2023年6月に公表された「こども未来戦略方針」により、保育士の配置基準の見直しや保育士の処遇改善等が議論されており、今後、保育士人材の需要はさらに増し、当社サービスの社会的な重要性は高まっていくものと考えられます。

以上の結果、売上高は2,461,345千円(前年同期比10.3%増)、営業利益は304,084千円(前年同期比7.8%減)、経常利益は304,524千円(前年同期比7.4%減)、四半期純利益は192,061千円(前年同期比7.8%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりとなります。

①教育人材支援事業

ICT支援員派遣サービスについては、教育現場のDXという環境のもとで、地方自治体向けサービスの受注が増加いたしました。また、部活動の運営受託サービスについては、私立学校向けサービスだけでなく、公立学校向けサービスが拡大し、売上は増加いたしました。さらに、日本語教育サービスについては、新規受注の増加に伴い売上は増加いたしました。

その結果、売上高は819,654千円(前年同期比26.9%増)、セグメント利益は139,299千円(前年同期比25.2%増)となりました。

②福祉人材支援事業

福祉人材サービスにおいては、介護向け人材サービスの撤退により介護関連の売上高は減少したものの、保育関連の人材紹介サービス及び人材派遣サービスの売上が順調に伸び、前年同期に比べ売上及び利益は増加いたしました。特に、学童施設向け及び障がい児施設向けサービスの売上が前年同期に比べ増加いたしました。さらに、地方自治体向け人材サービスについても新規受注し、事業の拡大を図っております。

その結果、売上高339,987千円(前年同期比9.2%増)、セグメント利益は83,622千円(前年同期比5.4%増)となりました。

③個別指導教室事業

個別指導教室においては、2022年7月に「中川校」、10月に「湘南台校」、2023年2月に「ペンタスキッズセンター北校」、6月に「本厚木校」、7月に「淵野辺校」及び「新松戸校」、10月に「ペンタスキッズ中川校」を開校し、新規校舎の入塾者数が順調に伸び、売上は増加いたしました。特に「新松戸校」の開校につきましては、神奈川県以外での初めての新店であり、今後新たな地域でドミナントを形成し事業の拡大を図っていく方針です。一方、新規校舎の開校による事業拡大により、開校のための初期費用及び人件費や広告宣伝費等の運営費用は増加いたしました。

その結果、売上高は931,870千円（前年同期比10.9%増）、セグメント利益は202,794千円（前年同期比6.8%減）となりました。

④家庭教師事業

家庭教師サービスにおいては、オンライン型家庭教師サービスの売上高は前年同期と比べ増加したものの、対面型家庭教師サービスの売上高は会員数の減少や入会金の無料化により減少いたしました。一方、サービス地域の拡大に伴う広告宣伝費や、ホームページのリニューアルのためのマーケティング費用等が増加いたしました。今後は、東海地方や九州地方など首都圏や関西圏以外の地域へのサービス拡大をより進めていく方針です。

その結果、売上高は369,832千円（前年同期比14.8%減）、セグメント利益は33,403千円（前年同期比62.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産合計は2,465,167千円となり、前事業年度末に比べ210,040千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が148,743千円、売掛金が50,760千円、前払費用12,014千円増加したこと等によるものであります。

固定資産合計は231,940千円となり、前事業年度末に比べ25,137千円増加いたしました。これは主に建物が28,427千円、敷金が4,172千円増加した一方、繰延税金資産が3,802千円減少したこと等によるものであります。

この結果、資産合計は2,697,107千円となり、前事業年度末に比べ235,178千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債合計は476,660千円となり、前事業年度末に比べ36,043千円増加いたしました。これは主に未払費用が15,845千円、契約負債が15,405千円、預り金が12,166千円、未払金が11,945千円増加した一方、未払法人税等が12,831千円、賞与引当金が7,025千円減少したこと等によるものであります。

固定負債合計は49,744千円となり、前事業年度末に比べ6,442千円増加いたしました。これは資産除去債務が6,442千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は526,405千円となり、前事業年度末に比べ42,486千円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は2,170,702千円となり、前事業年度末に比べ192,691千円増加いたしました。これは四半期純利益の計上により利益剰余金が192,061千円増加したこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想については、2023年5月11日の「2023年3月期決算短信（日本基準）（非連結）」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,064,221	2,212,964
売掛金	175,268	226,029
貯蔵品	3	3
前払費用	17,528	29,542
その他	781	78
貸倒引当金	△2,675	△3,450
流動資産合計	2,255,127	2,465,167
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	90,564	118,992
構築物（純額）	997	932
工具、器具及び備品（純額）	754	820
その他（純額）	1,611	2,011
有形固定資産合計	93,928	122,756
無形固定資産		
ソフトウェア	3,709	1,333
無形固定資産合計	3,709	1,333
投資その他の資産		
敷金	74,100	78,272
長期滞留債権	6,875	7,954
繰延税金資産	26,684	22,882
その他	8,379	6,695
貸倒引当金	△6,875	△7,954
投資その他の資産合計	109,164	107,850
固定資産合計	206,802	231,940
資産合計	2,461,929	2,697,107

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
未払金	187,046	198,992
未払費用	18,141	33,986
未払法人税等	64,474	51,642
未払消費税等	49,843	53,683
契約負債	79,485	94,890
預り金	14,814	26,980
賞与引当金	20,458	13,432
資産除去債務	2,163	—
その他	4,189	3,050
流動負債合計	440,617	476,660
固定負債		
資産除去債務	43,301	49,744
固定負債合計	43,301	49,744
負債合計	483,918	526,405
純資産の部		
株主資本		
資本金	334,100	334,415
資本剰余金	274,100	274,415
利益剰余金	1,369,592	1,561,654
株主資本合計	1,977,792	2,170,484
新株予約権	218	218
純資産合計	1,978,011	2,170,702
負債純資産合計	2,461,929	2,697,107

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	2,230,988	2,461,345
売上原価	1,713,790	1,973,992
売上総利益	517,198	487,353
販売費及び一般管理費	187,541	183,269
営業利益	329,656	304,084
営業外収益		
受取保険金	308	—
受取損害賠償金	—	440
営業外収益合計	308	440
営業外費用		
解決金	943	—
営業外費用合計	943	—
経常利益	329,021	304,524
税引前四半期純利益	329,021	304,524
法人税、住民税及び事業税	113,329	108,660
法人税等調整額	7,322	3,802
法人税等合計	120,652	112,462
四半期純利益	208,369	192,061

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	教育人材 支援事業	福祉人材 支援事業	個別指導 教室事業	家庭教師事 業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる 収益	645,700	311,383	839,937	433,966	2,230,988	—	2,230,988
外部顧客への売上高	645,700	311,383	839,937	433,966	2,230,988	—	2,230,988
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	645,700	311,383	839,937	433,966	2,230,988	—	2,230,988
セグメント利益	111,241	79,368	217,686	88,942	497,238	△167,581	329,656

(注) 1. セグメント利益の調整額△167,581千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	教育人材 支援事業	福祉人材 支援事業	個別指導 教室事業	家庭教師事 業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる 収益	819,654	339,987	931,870	369,832	2,461,345	—	2,461,345
外部顧客への売上高	819,654	339,987	931,870	369,832	2,461,345	—	2,461,345
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	819,654	339,987	931,870	369,832	2,461,345	—	2,461,345
セグメント利益	139,299	83,622	202,794	33,403	459,119	△155,035	304,084

(注) 1. セグメント利益の調整額△155,035千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。